高規格救急自動車仕様書

鳥取県西部広域行政管理組合
消　　防　　局

高規格救急自動車仕様書

第１　総　　則

１　目　的

この仕様書は、鳥取県西部広域行政管理組合消防局（以下「発注者」という。）が平成２５年度に納入する高規格救急自動車（以下「救急車」という。）について定める。

２　概　要

（１）救急車はすべて平成25年度に公表製作された新規製品とし、この仕様書に定めるもののほか、国が行う補助の対象となる緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱（災害対応特殊救急自動車）に定める規格に適合するものであること。又、すべての架装は、道路運送車両法及び道路運送車両の保安基準に適合し、緊急自動車として承認されるものであること。

（２）薬事法に係る国の指導に基づき、救急車に積載する医薬品等の取付けは、本仕様には含まない。

３　車　両

（１）納入台数　１　台（米子消防署南部出張所配備予定）

（２）車種　　ガソリンエンジン、４輪駆動車

４　協　議

この仕様書について疑義のあるときは、発注者の指示を受けること。又、本仕様書を変更する場合は、双方協議のうえ確認の図書等を取り交わすこと。ただし、その費用は受注者の負担とする。

５　受注者は製作に先立ち、この仕様に基づき下記の図書を製作提出し、消防局と製作上の細部について十分な打ち合わせを行い、製作承認を受けること。

（１）価格内訳書　１部

（２）製作工程表　１部

（３）艤装承認図　３部

（４）積載品等配置図　３部

（５）その他発注者の要求する図書、書類等　必要数　（電気配線図）

６　登録、回送納入

受注者は、下記の事項により本仕様書による完成車を納入すること。又、車両登録（リサイクル料、車庫証明、緊急車指定申請書）及び回送納入等は、経費を含めすべて受注者の責任において行うものとする。ただし自動車重量税、自賠責保険は発注者の負担とする。

（１）納入期限　　平成２６年３月２８日（金）

（２）納入場所　　鳥取県西部広域行政管理組合消防局

７　検　査

（１）中間検査

中間検査は実施しないものとする。

（２）検収検査

納入時に艤装及び積載品等の検収を行うものとする。
（３）納入に際しては、次のものを添付すること。
ア　車両、各機器等の取扱説明書
イ　保証書
ウ　その他消防局の要求するもの。

８　保　　証
（１）納入に至るまでの間において発生した、どのような事故も受注者において責任を負うものとする。
（２）　保証期間は納入日から1年間材質の不良及び製作の不備により生じた不具合について､受注者がその責任において無償で修理するものとする。又､保証期間後であっても設計・製作及び材料不良等の瑕疵によって不具合が生じた場合についても、受注者が無償で修復すること。
（３）その他については、別途契約書のとおりとする。

第２　艤　　装
１　車体艤装
（１）「救急業務実施基準」（昭和３９年３月３日付自消甲教発第６号通知。以下「実施基準という。」）第９条に定める要件に適合するものであること。
（２）４輪駆動車であること。
（３）車体は、全有蓋で密閉式構造のものであること。尚、運転室と患者看護室は隊員等が移動できる構造のものであること。
（４）車内の照明は、傷病者の症状及び救急隊員の業務の遂行に支障のない照度を有するものであること。
（５）車体後部は、ストレッチャーによる搬入が容易に行われる構造のものであること。
（６）傷病者を収容する部分の規格は、次のものであること。
ベッドの両側の空間、ベッド頭部側の座席とベッドとの間の空間及び室内高は、実施基準第１１条に定める資機材を用いた業務の遂行に支障のないものであること。
（７）無線関係（乗せ替え）（デジタル、アナログ対応）
消防専用電話装置（以下「無線機等」という。）接続に係る艤装は次のとおりとする。
又、無線機等とは無線機、送受話器、（運転室送受話器、患者室送受話器）AVM モニター装置（インターフェイス、ディスプレー)、空中線共用器とする。
ア　無線機等の支給品を指定する場所に取付け出来るようにすること。
イ　無線機等に係る配線はフレキシブル配管とする。尚、車内の内張には容易に配管を確認できるよう措置すること。
ウ　電源はバッテリーから直接取り無線機等まで直接配線２系統電源の配線をすること。電源は無線機用及びＡＶＭ用とする。
エ　無線機等のノイズ対策のため、アースボンディング及び無線機の電源線にノイズフィルターを取付けること。
オ　患者室用埋め込み式無線スピーカー（新規品スイッチ付）を取付けること。（新規品）
カ　患者室用送受話器の取付け位置は右側（ベッド頭部付近）とする。
キ　無線アンテナ取り付け部（ルーフ中央部）がＦＲＰの場合は、無線反射板を取付けること。
ク　新規の空中線（アナログ用１本、デジタル用２本）をルーフ上に取付け出来るようにすること。又、ＧＰＳ配線を取付けること。
ケ　無線アンテナ線を車内に引き入れる部分は、雨水等の侵入防止構造とすること。
コ　空中線共用器取付け用架台を指定する場所に取付けること。

サ　ＡＶＭモニター取付け用架台を指定する場所に取付けること。

（８）各救急資機材及び高度救命用資機材等は、その機能を損なう事なく、安全かつ確実に積載できる構造であること。

（９）救急資機材に必要な電気容量を継続して確保できるものであること。

ア　患者室にＡＣ１００Ｖ（正弦波、３００W以上）コンセント６個以上（携帯吸引器用並びに携帯電話専用含む)、又、ＤＣ１２Ｖコンセント３個以上の電源並びに、各救急資機材、高度救命用資機材等の使用等救急業務に必要な電源装置を設けること。

イ　救急用モニター及び室内蛍光灯は､外部商用電源において使用可能な構造であること。又、外部商用入力電源はエンジンスターターカット機能及びマグネット方式とする。

ウ　バッテリー内蔵の資機材で充電の必要なものは、外部商用電源において充電可能な構造であること。

エ　患者室右側にモニターコード用フック５個以上取付けること。

(10) 緩衝装置は、救急資機材等を用いた業務の遂行に支障のない十分な性能を有すること。

(11) 十分な冷暖房機能を有するヒーター及びエアコンを取付けること。

(12) 電子サイレン

電子サイレン（拡声装置兼用）は、ウ～ウ～音付き（２音式）サイレンを取付けること。サイレンは｢救急自動車に備える音色の変更について」（昭和４５年６月１０日付消防第３３７号通知）の別紙「救急自動車に備える電子サイレンの概要」に適合すること。電子サイレンアンプは、５０W型（マイクは２個とし１個はフレキシブルマイクを運転席上、１個は助手席付近スイッチ付）右左折メッセージキャンセルスイッチ付とし、取付け配線は専用とすること。又、モーターサイレンをスイッチ付きで取付け配線は専用とすること。

(13) 仰臥位の傷病者の体位変換が可能な機能を有する構造であること。

(14) ストレッチャー積載架台は次に掲げる機能を有するものであること。又、メインストレッチャーが容易に収納、取り出しできる構造であること。

ア　加速度等により生ずる揺れを十分に吸収できる構造であること。

イ　左右にスライドできる構造であること。

(15) 運転席、助手席及び後部室左側の同乗者用座席にハイバック式シートを設けること。但し後部のハイバック式シートとサイドベンチシートの間に空間がないようにすること｡又、後部室のベッド頭部側に隊員用座席を設け、すべての座席にシートベルトを設けること。

(16) 排気ガスが後部から入らない構造であること。

２　外部艤装

（１）ドア関係

運転室部の左右ドアは後ろ開き式及び患者看護室の左側ドアはスライド式で設け、安全に乗降できるようにステップ等を設けること。

（２）赤色点滅灯（LED 式)を車両前後に取付けること。

（３）消防マーク

フロント中央部に消防マークを取付けること。

（４）バッテリーボックス

バッテリーの点検及び交換が容易にできるような構造であること。

（５）赤帯（反射テープ）

（６）サイド収納ボックスを取り付け、レスキューセットを取付けること。

（７）メインスイッチ付きバックブザーを音声合成とは別に取付けること。

（８）バックドア開放と同時に連動し、ハザードランプが点滅するようスイッチ付（バックドア付近）で設けること。

（９）下記に掲げるものを取付けること。

ア　サイドフラッシャーランプ
イ　フォグランプ
ウ　サイドバイザー
エ　フロントアンダーミラー
オ　リヤホイール灯
カ　助手席アウトサイドミラー
キ　作業灯

（10）自動車電話一式を取付け出来るようにすること。

3　内部艤装

（1）患者保護用のリアーカーテン（電動式）及びサイドカーテンを設けること。

（2）次に掲げる設備を設けること。

ア　冷温蔵庫	1式
イ　電動式手洗い装置	1式
ウ　点滴ビン固定装置（サイド・天井）	1式
エ　汚物入れ	1式
オ　換気装置	1式
カ　酸素マスク収納庫	1式
キ　ＦＭ／ＡＭラジオ	1個
ク　時計（アナログ、電波時計）	1式
ケ　ウエルパス収納庫	1式
コ　車両バッテリー自動充電器（外部商用電源ＡＣ１００Ｖ）	1式
サ　電流電圧計	1式
シ　バックドア左大型アシストグリップ	1式
ス　患者室天井部分及び右側前後アシストグリップ	1式
セ　サーチライト（患者灯、バックドア）	1式
ソ　車輪止め（ゴム製）	1式

（3）別表に掲げる各救急資機材及び高度救命用資機材等は、その機能を損なうことなく、安全かつ確実に積載できる構造であるとともに、埃等から保護するための措置が講じられるよう収納庫等を設けること。尚、収納庫及び積載場所、取付け方法等については別途指示する。

ア　患者室に収納庫（収納棚）を可能なかぎり設けること。（縦型収納庫も可とする）
　　また、縦型収納庫車載車は、高さ調節及び取り外し可能な棚２段を設けること。
イ　患者室のすべての開放収納庫に扉を設けること。
ウ　患者室にオーバーヘッド収納庫を設けること。
エ　ホワイトボードを設けること。
オ　患者室にルーフネットを可能な限り設けること。
カ　患者室内にティッシュボックス及びディスポグローブの固定マジックベルトを設けること。（設置場所については落札後協議）

（4）図面等収納ボックス（ポケット付き）を運転席及び患者室に設けること。

（5）助手席用スポットライトを設けること。

4　文字書き等（詳細については落札後協議）

（1）救急車の前部、後部、両側面に別途指示する文字及びマークを記入すること。

（2）キャブ上部に別途指示する対空標識を表示すること。

（3）車両側面中央及び側面後部に別途指示する文字及びマークを記入すること。

5　当救急車に積載する取付け品、付属品及び救急資機材並びに特殊艤装等は別表（別表１～別表５）による。尚、医療機器、別表１～別表４「高度救命用資機材」の一部は発注者の支給品とする。但し救急車に積載する医薬品、医療資機材及び高度救命処置用資機材の取付けは、別途発注予定の高度救命処置用資機材納入業者が行うので、高規格救急自動車納入業者は取付ける必要はない。(取付けに必要な処置をすること)

（１）別表１　取付け品及び付属品
（２）別表２　軽微な変更として備えることができる取付け品及び付属品
（３）別表３　高度救命用資機材
（４）別表４　特別な救急資機材
（５）別表５　特別な取付け品、付属品及び艤装

別　表　１
取付け品及び付属品

品　　名	数量	支給品区　分	取付け区分	摘　　要
メインストレッチャー	１台	車両側	取付け	
サブストレッチャー	１台		取付け	
電子サイレン	１式		取付け	２音切り替え式、音声合成タイプ
赤色警光灯（増設型）	２式		取付け	フロント、リヤーサイドルーフ（ＬＥＤ式）
酸素呼吸器	１式	支給品	取付け	３方チーズ、配管及び加湿流量計
人工呼吸器（据置型）	１式	支給品	取付け	マスク大小含む
吸引器	１式	支給品	取付け	専用ポンプ、配管取付け及びその他支給品を取付けできるようにすること。
エアーウェイ	１個	支給品		
開口器	１個	支給品		
消火器	１本	車両側	取付け	

別　表　２
軽微な変更として備えることができる取付け品及び付属品

品　　名	数量	支給品 区　分	取付け 区分	摘　　要
モーターサイレン	１式	車 両 側	取付け	
スタッドレスタイヤ	１式		添付	ホイール付き
タイヤチェーン	１式		添付	添付（亀甲型）
サイレンスピーカー部防雪カバー	１式		取付け	スピーカー部
GPS ナビゲーションシステム	１式		取付け	最新全国版ソフト付
車輪止め（ゴム製品）	１式		添付	ロープ付き
三角停止表示板	１式		添付	
レスキューセット	１式		取付け	
消防章	１式		取付け	
消防本部名称等	１式		取付け	
対空標示	１式		取付け	
朱色ライン（赤帯）	１式		取付け	保安基準のとおり
心電計（携帯用）	１式	支給品		
電動吸引器（携帯用）	１式	支給品	取付け	
耐震血圧計（据置式）	１式	支給品	取付け	
血圧計（携帯用）	１式	支給品		
聴診器	１式	支給品		
体温計	１式	支給品		
検眼ライト	１式	支給品		
収納ケース	１式	支給品		
減圧式固定器具	１式	支給品		全身及び部分固定
副木	１式	支給品		
タオル包帯	１式	支給品		
止血帯	１式	支給品		缶ケース入り
バストバンド	１式	支給品		
スクープストレッチャー	１式	支給品	取付け	
頭部固定器具	１式	支給品		
雨覆いシート	１式	支給品		
まくら	１式	支給品		

産科セット	１式	支給品		
汚物入れ	１式	支給品		
膿盆	１式	支給品		
洗眼器	１式	支給品		
氷嚢	１式	支給品		
尿器	１式	支給品		女性用
資機材収納ケース	１式	支給品		中型バック（背負い式）
救命浮環	１式	車両側	添付	
救命綱（スローロープ２５ｍ）	１式	車両側	添付	

別　表　３
高度救命用資機材

品　　名	数量	支給品区　分	取付け区分	摘　　要
気道確保資機材一式	１式	支給品	取付け	人工呼吸器、電動吸引器（携帯型）ＡＣ コンセント及び収納枠等の取付け含む
自動体外式除細動器 （二相波形型）	１式	支給品	取付け	
輸液用資機材	１式	支給品		
血中酸素飽和度測定器	１式	支給品		
心電計 （ベッドサイドモニター）	１式	支給品	取付け	
自動車電話 （秘話機能を有するもの）	１式	車両側	取付け	衛星携帯電話本体、ＤＣアダプター、ホルダー含むアンテナ衛星対応

別　表　4
特別な救急資機材

品　　名	数量	支給品 区　分	取付け 区分	摘　　要
予備酸素ボンベ　9.4L	４本	車両側		
予備酸素ボンベ　2L	１本	車両側		
ユニオン担架	１式	支給品		
頚椎固定器具	１式	支給品	取付け	バックボード
布担架	１式	支給品		

別　表　5
特別な取付け品、付属品及び艤装

品　　名	数量	支給品 区　分	取付け 区分	摘　　要
アワーメーター	１式	車 両 側	取付け	
リモコンドアロック	１式		添付	３個(キー付)
サーチライト（携帯）	３本		取付け	
バンパー保護板	１式		取付け	前後
患者室全ガラス曇りガラス	１式		取付け	フイルム可
フロアマット	１式		添付	
補修染料セット	１式		添付	
発光式カラーコーン（折りたたみ式)	３個		添付	収納袋付
ドライブレコーダー	１式		添付	

平成25年度　救急自動車

型式内訳表（同等品以上とする）

艤装

車体艤装	車両	ガソリンエンジン、オートマチック車、4輪駆動車、ABS装置付
		エアバック装置（運転席、助手席）
		車両寸法 全長　5，650mm以内　　全幅　1，950mm以内 全高　2，550mm以内
	無線機（載せ替え）	無線機等（無線機、AVMモニター装置、空中線共用器)及び架台及び空中線（ベース含む）、空中線用ケーブル、車内スピーカー、電源線等を配線すること
	電子サイレン	音声合成タイプ（消防庁通知平成19年3月13日） 防雪カバー（直接雪が当らなければ不要）
外部艤装	赤帯	バックドアは赤帯の反射テープ（その他保安基準どおり）
	バックブザー	音声合成とは別に取り付ける
	フォグランプ	ハロゲンで純正を取付
	作業灯	大阪サイレンLED（LI－21）（左右各2基）（スイッチ左右別）
内部艤装	温冷蔵庫	後部座席付近に電源
	時計	秒針付（電波時計、アナログ）
	収納庫	2箇所鍵付

別 表 1 取付品及び付属品

品　名	数量	支給品区 分	取付区分	摘　要
メインストレッチャー	1台	車両側購入	取付	型式ＧＴ－０６ サイドガード左右ストッパー付 畜光テープ付 クッションマット改造型
サブストレッチャー	1台		取付	ブレークアェーストレッチャーモデル12－C
電子サイレン	1式		取付	クラクション切り替え（スイッチ）
赤色警光灯	2式		取付	大型式全部LED（増設型）
酸素呼吸器	1式	支給品	取付	オキシパックOX－FDX　取付（支給品） 3方チーズ及び配管、オキシパックを取り付できるようにすること。加湿流量計を取り付けれるようにすること。
人工呼吸器（据置型）	1式	支給品	取付	アンサー
吸引器	1式	支給品	取付	WS－1400
	1式	車両側購入	取付	専用ポンプ及び配管、取付け金具を取り付できるようにすること。 （専用ポンプ及び配管の部品は車両側）

別 表 2 軽微な変更として備えることができる取付品及び付属品

品　　名	数量	支給品区 分	取付区分	摘　要
モーターサイレン	1式	車両側購入	取付	スイッチはプッシュ式でフロント中央に取付
スタッドレスタイヤ	1式		添付	
タイヤチェーン	1式		添付	
サイレンスピーカー部防雪カバー	1式		取付	
GPS ナビゲーションシステム	1式		取付	GPS ナビゲーション（純正品）HDD 最新全国版ソフト付
車輪止め（ゴム製品）	1式		添付	
三角停止表示板	1式		添付	
レスキューセット	1式		取付	5点セット
消防章	1式		取付	仕様書のとおり
消防本部名称等	1式		取付	仕様書のとおり
対空標示	1式		取付	仕様書のとおり
朱色ライン（赤帯）	1式		取付	仕様書のとおり
心電計（携帯用）	1式	支給品		
電動吸引器（携帯用）	1式	支給品	取付	日本船舶パワーミニック（携帯用）
耐震血圧計（据置式）	1式	支給品	取付	日本船舶タイコス　大型アネロイド血圧計（ウォール型）
スクープストレッチャー	1式	支給品	取付	エルゴンWMR－16150/V
救命浮環	1式	車両側購入	添付	
救命綱（スローロープ25m）	1式		添付	

別 表 3 高度救命用資機材

品　　名	数量	支給品 区 分	取付 区分	摘　要
気道確保資機材一式	1 式	支給品	取付	人工呼吸器、電動吸引器（携帯型） ＡＣ コンセント及び収納枠等の取付含む
自動体外式除細動器(二相波形型)	1式	支 給 品	取付	日本光電TEC－2513
輸液用資機材	1式			
血中酸素飽和度測定器	1式			パルスオキシメーター Rad-5
心電計(ベッドサイドモニター)	1式		取付	モニターBSM－3562
自動車電話(秘話機能を有するもの)	1式	車両側 購入	取付	docomoワイドスターⅡ

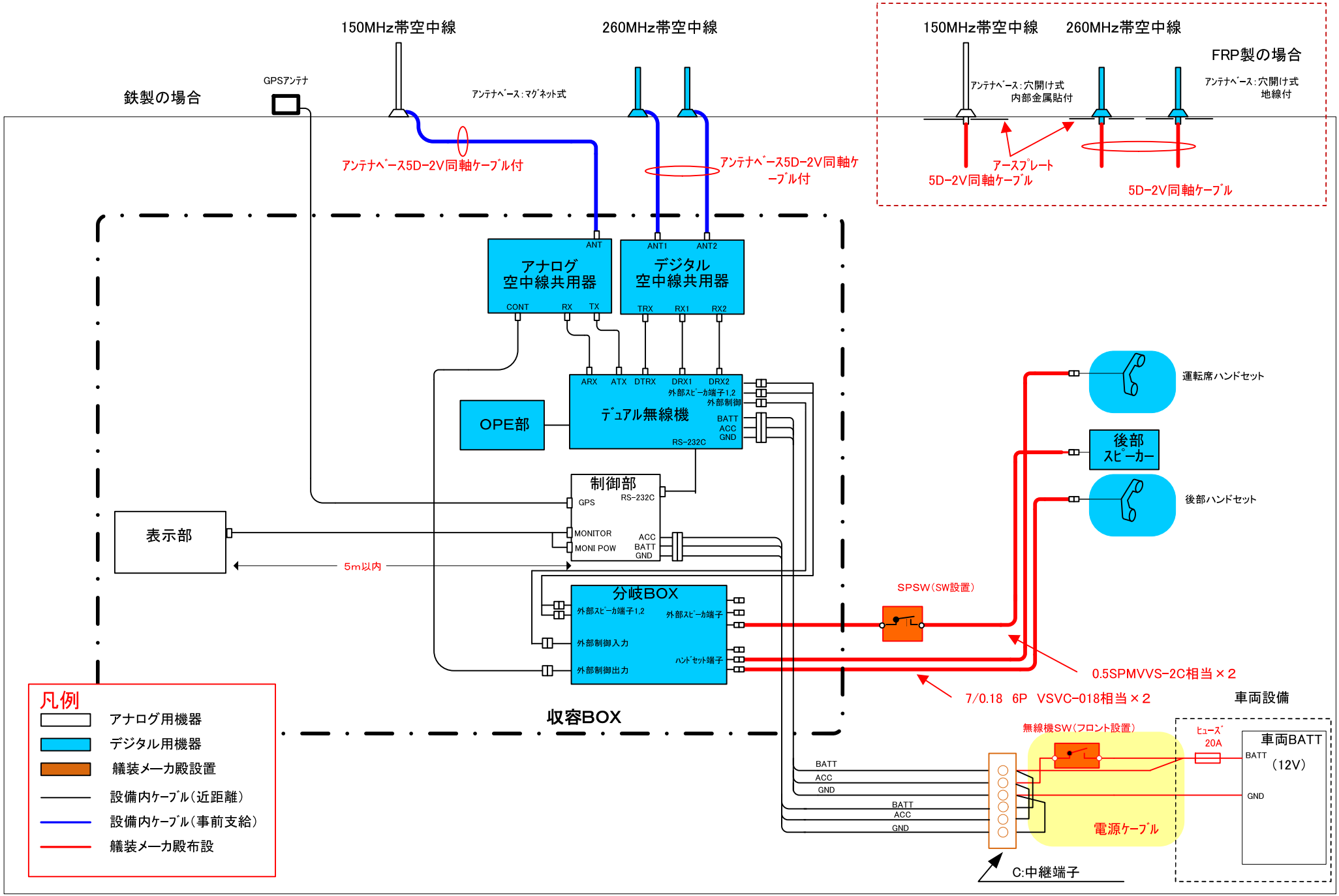
別 表 4 特別な救急資機材

品　名	数量	支給品 区 分	取付 区分	摘　　要
予備酸素ボンベ 9.4L	4本	車両側		(9．4ℓ ロレットタイプアルミ製)酸素ボンベ (Q017)刻印すること。
予備酸素ボンベ 2L	1 本	車両側		(2ℓ ロレットタイプアルミ製)酸素ボンベ (Q017)刻印すること。
頚椎固定器具	1式	支給品	取 付	ファーノ ハイテクボード モデル2010

別 表 5 特別な取付品、付属品及び艤装

品　　名	数量	支給品区 分	取付区分	摘　要
アワーメーター	1式	車両側購入	取付	
リモコンドアロック	1式		添付	3個
サーチライト(携帯)	3本		取付	ペリカンライトLED＃2010
バンパー保護板	1式		取付	前後
患者室全ガラス曇りガラス	1式			フイルム可
フロアマット	1式			
補修染料セット	1式		添付	
発光式カラーコーン（折りたたみ式)	3個		添付	収納袋付
ドライブレコーダー	1式		取付	DRY-FH200(３２Ｇカード付)

その他の注意事項
1　資機材取り付けについては落札業者と後日協議する。
2　車体文字の大きさは、落札業者と後日協議する。
3　型式以外の同等品を納入予定とする場合、発注者の承認を得ること。(カタログ、資料を添付すること)
4 無線機等関係載せ替えの詳細は、落札業者と後日協議する。


鉄製の場合
GPSアンテナ
150MHz帯空中線
260MHz帯空中線
アンテナベース：マグネット式
アンテナベース5D-2V同軸ケーブル付
アンテナベース5D-2V同軸ケーブル付
150MHz帯空中線
260MHz帯空中線
FRP製の場合
アンテナベース：穴開け式
内部金属貼付
アンテナベース：穴開け式
地線付
アースプレート
5D-2V同軸ケーブル
5D-2V同軸ケーブル
ANT
アナログ
空中線共用器
CONT
RX
TX
ANT1
ANT2
デジタル
空中線共用器
TRX
RX1
RX2
ARX
ATX
DTRX
DRX1
DRX2
外部スピーカ端子1,2
外部制御
デュアル無線機
BATT
ACC
GND
RS-232C
OPE部
制御部
GPS
RS-232C
MONITOR
MONI POW
ACC
BATT
GND
表示部
5m以内
分岐BOX
外部スピーカ端子1,2
外部スピーカ端子
外部制御入力
ハンドセット端子
外部制御出力
運転席ハンドセット
後部
スピーカー
後部ハンドセット
SPSW（SW設置）
0.5SPMVVS-2C相当×2
7/0.18 6P VSVC-018相当×2
車両設備
収容BOX
無線機SW（フロント設置）
ヒューズ
20A
車両BATT
BATT
（12V）
GND
BATT
ACC
GND
BATT
ACC
GND
電源ケーブル
C:中継端子
凡例
アナログ用機器
デジタル用機器
艤装メーカ殿設置
設備内ケーブル（近距離）
設備内ケーブル（事前支給）
艤装メーカ殿布設

救急車　接続系統

平成２５年９月２７日

入　　札　　書（第　回）

鳥取県西部広域行政管理組合
管理者　米子市長　野坂康夫　様

鳥取県西部広域行政管理組合財務規則（平成８年鳥取県西部広域行政管理組合規則第３号）を承知の上、次のとおり入札します。

住　　所

商号又は名称

代表者氏名　　㊞

受任者氏名　　㊞

件　　名	高規格救急自動車の納入
納入場所	鳥取県西部広域行政管理組合消防局 （米子市両三柳５４５２番地）
入札金額	金　　円

注意

① 入札書は封書にし、封筒表面に「入札書」と表示し、件名、住所、商号又は名称を記入すること。

② 入札金額は、消費税及び地方消費税を含めない金額とし、算用数字を使用してください。なお、入札金額の訂正はできません。

平成２５年９月２７日

委　　任　　状

鳥取県西部広域行政管理組合
管理者　米子市長　野坂康夫　様

住　　所

商号又は名称

代表者氏名　　㊞

私は、次の入札に関する一切の権限を下記の者に委任いたします。

記

1　件　　名　　高規格救急自動車の納入

2　入札日　　平成２５年９月２７日

3　受任者　　住　所

氏　名　　㊞

受任者使用印鑑

平成　　年　　月　　日

辞　　退　　届

鳥取県西部広域行政管理組合
管理者　米子市長　野坂康夫　様

住　　所

商号又は名称

代 表 者 氏 名　　㊞

受 任 者 氏 名　　㊞

下記の入札物件について、第　　回目の入札を辞退します。

記

1　件　　名　　高規格救急自動車の納入

2　入 札 日　　平成２５年９月２７日

3　辞 退 理 由

平成　　年　　月　　日

入 札 物 品 確 認 書

鳥取県西部広域行政管理組合
管理者　米子市長　野坂康夫　様

住　　所

提出者　商号又は名称

代 表 者 氏 名　　㊞

下記の入札物件について、次のとおり確認書を提出します。

記

1　件　　名　　高規格救急自動車の納入

2　入　札　日　　平成２５年９月２７日

3　入 札 物 品

※ 該当する項目の□をチェックしてください。

□ 仕様書に定めるもので入札に参加

□ 仕様書に定めるもの以外の同等品で入札に参加（組合の認定が必要）
（品質等については、別添資料又は持参品のとおり）

（仕様書に定めるもの以外の同等品で入札に参加する場合の認定結果等）

認定結果は、平成25年9月18日正午までに電話又はファクシミリにより回答いたします。

なお、不適合となった場合は、平成25年9月19日正午までに同等品の再提出を行い、再認定を受けることを認めることとします。